

人むすびの場

第9回テーマ
“感動と楽しさが人をつなげる”

日時	平成21年3月24日(火) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ「**感動と楽しさが人をつなげる**」
NPO法人文化芸術創造工房カルチャーネット御前崎
代表理事 石原 典子さん
- 19:40 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

「感動と楽しさが人をつなげる」

ゲストスピーカー 石原 典子さん

今年の10月31日みんなでつくる御前崎市
オリジナルオペラを上演します！



- 文化に触れる機会の少ない環境を危惧し、「文化がないところに人は集まらない。人が集まらなると市の活性化はない」という信念のもと、文化・芸術に触れ合う場を提供し、その発展と振興、人々の意識の高揚を目指しています。
- 1987年、クラシック音楽鑑賞会「ミューズの会」を仲間で設立。その後浜岡音楽祭の企画、「第九」やオペラ「蝶々夫人」の公演などを実現してきました。
- 専門家と市民の合唱団を組み合わせ、これまで鑑賞する受動態だった人が自ら参加する能動態に変わること、生き生きと顔が輝くことを実感。
- 2008年、御前崎市誕生5周年記念で企画したコンサート「第九」の成功をきっかけに、地域の認知度、期待度が高かったことからこれまで培ってきた活動内容や経験、人脈の豊富さをもとに、音楽・美術・自然を3本柱としたNPO法人「文化芸術創造工房カルチャーネット御前崎」(愛称:「カルネット御前崎」)を設立。
- 「最近数がめっきりすくなくなった」というスカシユリを植える事業。また、美術家・清川泰次氏の「清川泰次芸術館」を活性化する事業も行っています。
- 仲間がいて、ともにものをつくることで参加した人の笑顔が輝く。感動を分かち合い、認められて満足する。それを見て、主催者側も楽しいし、感動し、もっと活動を大きくしようと思います。
- ボランティアスタッフが、仲間づくりにより、充実感と喜び、感動を感じてこそ、活動が楽しくなります。まずは自分が楽しみこと。楽しくなくちゃ、ボランティアではない！
- 私は、人間が大好きです！



【略歴】 静岡県御前崎市在住。国立音楽大学声科卒。卒業後地元に戻り結婚、4人の母親となる。父親の会社を手伝いながら、ピアノ教師、合唱指導など務める。田舎の文化的環境の悪さを危惧し、1987年、クラシック音楽鑑賞会「ミューズの会」を仲間で設立。その後浜岡音楽祭の企画、「第九」やオペラ「蝶々夫人」の公演など、長年、御前崎市の文化振興に力を注いできた。2008年6月、これまで培ってきた活動内容や経験、人脈の豊富さをもとに、音楽・美術・自然を3本柱としたNPO法人「文化芸術創造工房カルチャーネット御前崎」を設立。昨年12月、御前崎市5周年記念コンサート「第九」を公演。現在今秋の国民文化祭に公演予定の御前崎市のイメージを盛り込んだオリジナルオペラを手がけている。

特定非営利活動法人 文化芸術創造工房カルチャー ネット御前崎

(趣旨)

御前崎市の周辺地域は静岡市、浜松市の間地点にあたり、鉄道高速道路からも距離をおいているため、いわゆる本物の文化・芸術に親しむ機会が薄い地域といわざるを得ない。

最近、市民の中でも本物志向を求める風潮も見られるようになったそれはただ与えられたものを鑑賞するだけでなく、自分自身で体験し、感動したいという思いも伴っている。また、その規模が大きく内容が充実しているほど心の高揚は大きくなり、生き甲斐として大切な思い出となっていくものである。

この法人は、文化・芸術に触れ合う場を提供する事業を行うことによって、その発展と振興及び人々の意識の高揚に寄与することを目的として設立するものである。

(事業)

この法人は、第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

- ① 音楽会、展示会、講演会等の企画・運営に関する事業
- ② 音楽鑑賞会、美術鑑賞会、自然観察会等の企画・運営に関する事業
- ③ 文化・芸術施設等の管理・運営に関する事業
- ④ その他、この法人の目的を達成するための事業

夢は大きく、体は細く。御前崎市の文化をより活性化

市議会議員、絵描き、ピアノ講師、フルート奏者など、御前崎を愛するメンバーが総勢16名(2009年2月現在)在籍する文化芸術創造工房カルチャーネット御前崎。「カルネット御前崎」の愛称で親しまれているこの団体は、音楽・美術・自然の3つを柱にして地域の文化芸術活性化に務めている。

NPO法人を設立したのは2008年とごく最近ではあるが、それまで培ってきた活動内容や経験、人脈が豊富なのがこの法人の強み。

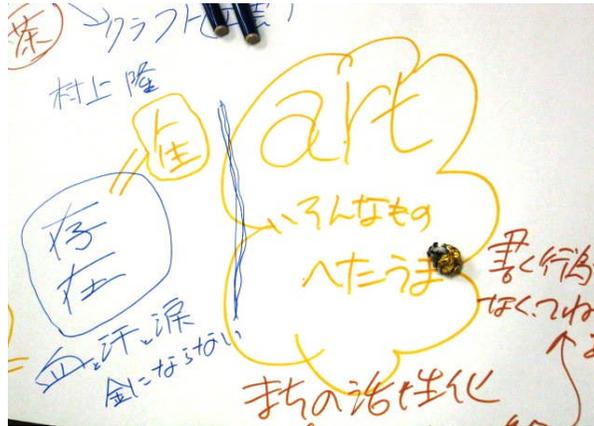
代表の石原氏が立ち上げたクラシック音楽鑑賞会「ミューズの会」を皮切りに、浜岡音楽祭の企画、御前崎市誕生3周年を記念したコンサート「第九」「蝶々夫人」のオペラ公演と、法人化するまでの実績はかなりのものだ。

人材集めや資金集め、ボランティアスタッフのまとめ方など、苦勞を重ねながらも「文化を活性化しないと人は集まらない。人が集まないと市の活性化はない」という信念のもと、少しずつノウハウを身に付けていった。

法人化のきっかけとなったのは、御前崎市誕生5周年記念で企画したコンサート「第九」。3周年記念コンサートが大盛況で、すでに地域の認知度、期待度が高かったことから「この際NPO法人を立ち上げて、開催した方がいいのではないか」という結論に至った。

「夢は大きく、体は細く(笑)」の志で進む今後は、御前崎市の認知度を飛躍させる魅力的なものばかり。まずは「最近数がめっきりすくなくなった」というスカシユリを植える事業。御前崎灯台の下を一面スカシユリのオレンジに染めることが夢だ。また、美術家・清川泰次氏の「清川泰次芸術館」の保護と発展、御前崎出身のオペラ歌手・三浦環氏への市民の感心を高める事業、そして10月の国民文化祭に向けたオリジナルオペラ「青の讃歌—御前崎秘聞—(仮)」公演。聞けば次から次へと発案が飛び出してくるバイタリティー溢れるカルネット御前崎である。

ワークショップ



人むすびカフェ

「私たちが感動と楽しさを分かちあうために何があれば良いでしょうか？
石原さんのプロジェクトへのアイデアは？」



人むすびカフェ

「私たちが感動と楽しさを分かちあうために何があれば良いでしょうか？
石原さんのプロジェクトへのアイデアは？」



人むすびカフェ

「私たちが感動と楽しさを分かちあうために何があれば良いでしょうか？
石原さんのプロジェクトへのアイデアは？」



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・文化とスポーツは同じである。
- ・「場」→「Bar」
- ・一緒につくること、つながること、知ることは楽しい。感動がある！
- ・人と人が集うこのような場に2回目にして、とても大きな喜びがありました。自発性を大切に、自他共にいきいきできる。そんな場にただ感謝でいっぱいです。
- ・多くの人がモチベーション・マネジメントに対して強い興味を持っていることが印象に残りました。
- ・人間の欲望、他人から認められる喜び、感動
- ・たまり場をつくる→人がつながる
- ・ライブが最高のぜいたく 生→記録ではない。
- ・集う場所があることが重要
- ・自分のためではなく、他人のたまに何かを成しとげたことの方が感動、喜びは大きい。
- ・日本ぽくないイベントで面白かった(新鮮という意味)
- ・人間は目的をひとつにすると感動につながる

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・感動を伝えること・・・文化？
- ・司会の角田さんの神父さんのような口調「どんなことがあったでしょうか？」
- ・達成感 同じ目的に向かって進む人が多ければ多いほど、パワーアップする。
- ・黙認から文化が発生する。
- ・いろいろな分野で「達成感」と「他の人に認められる」→共有
- ・感動、楽しさ、主体性
- ・婚活
- ・”人間が大好き”by 石原典子さん
- ・「場」が必要
- ・ライブの魅力
- ・好き→楽しさ→感動 予想外の体験
- ・エピソードはリアル

本日の感想ー③

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・いろいろな人の話を聞くことができた。
- ・その場にいる人の生の体験からくる言葉に力がある。
- ・初参加ですが、楽しかったです。有難うございました。
- ・人のつながりーもう少し、具体的につくりたかった。語りたかった。聞きたかった。
- ・部屋の中の花粉濃度が濃くて・・・。
- ・スタッフの方が仕切りに回って積極発言がなかったのが残念。
- ・人と人との関わりの原点を見た想いです。皆様とのご縁に心から感謝申し上げます。どうやったらこんな素敵な場が創れるのか、秘訣を知りたくなります。

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。